

助産師職能委員会

委員長 佐藤 君江

1 委員会開催回数 6回（開催予定8回、うち2回中止）

2 活動内容

(1) 研修会の開催

ア 助産師職能集会

新型コロナウイルス感染症対策のため中止

イ 新人研修：前期

テーマ「母乳ケア・母乳育児支援」

講師 自治医科大学附属病院 助産師 塚田 祐子氏

内容 タッチケアの講義および演習とグループディスカッション

他施設の助産師同士の交流が持て、情報交換する機会となった。

日時 令和2年9月25日（金）

会場 栃木県看護協会研修センター

ウ 新人研修：後期

テーマ「助産師のためのハンドケア」

講師 新小山市市民病院 助産師 松田 直美氏

内容 母乳育児支援の講義および演習とグループディスカッション

実践ですぐに活用できるスキルの習得ができ、半年後の成長を新人同士で認め合う機会となった。

日時 令和3年2月9日（火）

会場 栃木県看護協会研修センター

エ 助産師相互研修「産科従事者研修会・交流集会」

テーマ「産後ケアの現状」

座長：助産師職能委員長・獨協医科大学病院 副看護部長 佐藤 君江

シンポジスト

さくら産後院 助産師 鳥内 美智代氏

真岡市役所 こども家庭課 菊地 美砂子氏

獨協医科大学病院 医療ソーシャルワーカー 副主任 戸田 怜奈氏

内容 栃木県内の産後ケアの実態を把握し、施設や地域の助産師や保健師、看護師との連携を図り、情報の共有と今後の課題を見出した。

日時 令和3年1月25日（月）

会場 栃木県看護協会研修センター

(2) その他

ア いいお産の日 ヒューマンフェスタとちぎ 2020

新型コロナウイルス感染症対策のため中止

イ 助産師だより ミッドワイフトーク

目的 ホームページ化することにより、施設関係者にタイムリーな情報を提供する。

行動目標 令和3年3月にホームページ版「ミッドワイフトーク」第11号をアップする。

活動内容

11月～12月 原稿依頼先の検討、原稿依頼および原稿確認

1月 原稿のレイアウト検討、原稿の修正

3月 最終確認および発行（ホームページ上）

3 まとめ（次年度の課題）

- (1) 新人助産師研修会は助産師に限らず、産科勤務の看護師、NICU 看護師にも対象を広げたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、参加者が少なかった。来年度は今回参加できなかった対象者も参加できる方法を検討していく。
- (2) ヒューマンフェスタは、助産師の仕事を通じて命の大切さや人権について考える機会となっている。今後も感染症対策を強化し、看護協会の存在を県民に周知してもらおう機会として参加していきたい。
- (3) 施設助産師交流集会は、栃木県の委託事業である助産師相互研修の一環として開催できた。「産後ケア」に焦点を当て助産師だけでなく、地域の保健師等にも広報した結果、母子のケアに関する情報交換ができた。この研修は、CLoCMIP 看護管理者・ウィメンズヘルスケア研修の単位が獲得できる研修である。今後も情報共有とスキルアップを目的とし継続していく。
- (4) 助産師だより「ミッドワイフトーク」は、助産師への情報発信の場となっており、今後も継続していく。